

週

報

国際ロータリー・テーマ

夢をかたちに



Vol.42 第2050回例会

2008.10.30

今年度会長テーマ

(あい)に感謝 そして 実践しよう
ロータリーの志魂(こころ)

■司会：
石山例会運営委員



■会長報告

町田会長



■点鐘：町田会長

■合唱：ロータリーソング
「四つのテスト」



◆ソングリーダー：
村田会員

私達はこの世に生を享けて、日本国として人生を送っている訳ではありますが、国歌と国旗は、国の独立と尊厳を表す象徴であります。従って、世界中どの国でも自国の国歌と国旗を大切にすると共に、他国の国歌・国旗に敬意を示すのが当然の礼儀であると思います。以下は恵面会員頂いたプリントに依ります平成11年衆参両院で大多数の賛成により、「国旗、国歌法」が制定いたしました。世界の国旗には、それぞれの建国の由来や理想が表されています。アメリカ合衆国の星条旗には独立した当時の13州を示す条線と、現在の合衆国を構成する50州を示す星が描かれています。フランスの三色旗は市民革命の旗印とされた、自由、平等、博愛が青と白と赤の三色で示されています。日本の国旗となった「日の丸」は、赤い丸は万物に恵みをもたらす太陽を形どったものであり、皇祖神を天照大神と仰ぐ日本人が考え出した最もシンプルなデザインであります。歴史的には古く、源平以来の武士たちは扇面に好んで日の丸を描き、戦国武将は日の出をかたどった日足紋を家紋としたり、赤丸印を旗印として使っていました。秀吉、家康の時代には、御朱印船に朱の丸が船印と用いられています。

■お客様紹介：
戸澤パスト会長



◆ゲスト：東京北RC
坂下博康様



◆ゲスト：津久井RC
山本芳昭様



◆ゲスト：元米山奨学生
鄭企娟様



「くもりなき 朝日のはたに あまてらす
神のみいづを あふげ国民」

国民の祝日や、国家的奉祝行事には、家々でぜひ、国旗を掲げましょう。

■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30

■例会場／八坂神社 社務所

〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／高橋 眞 田中 重義

■事務所／〒189-0013

東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL 042-393-7500

■ 幹事報告

相羽幹事

■ オン・ツー・バーミンガム国際大会参加についてのアンケート



■ 「社会を明るくする運動」

東村山市実施委員会：

「第47回市民産業まつり」

における啓発活動の実施について

2008年11月8日(土)・9日(日) 10:00~16:00

於 市民産業まつり会場(消防署前ブース)

■ 青少年交換委員会：

派遣予定学生オリエンテーションのお知らせ

2008年11月15日(土) 15:00~17:00

於 ファーマライズ(株)

■ 米山奨学委員会：

米山奨学生カウンセラー研修会及び三者面談

開催について

2008年11月18日(火) 15:00~17:00(研修)

17:30~20:00(懇親)

於 ホテルグランドヒル市ヶ谷

■ ガバナー事務所：

訃報 佐藤千寿氏

東京東RC会員

第2580地区1975~75年度ガバナー

密葬(ご供花・ご香典、弔電等は辞退)

2011~2012年度 当地区ガバナーノミニー

決定について

東京RC会員 水野正人君

(経歴書 別添例会にて)

■ 国税局：源泉徴収票等の法定調書合計票の受理

■ 回覧：「友」インターネット速報 No.356

■ 出席報告

吉川例会運営委員



在籍会員数	出席	免除	欠席	出席率
42	36	1	4	89.74

■ 前々回メイクアップ修正後前々会欠席：4名

■ 前々回出席率メイクアップ修正後：89.74%

■ 前々会メイクアップ者：

河野会員：所沢RC

村越会員：東大和RC

二ノ宮会員：分区ゴルフ

高橋(真)会員：ケアンズRC

高橋(徹)会員：立川RC

■ ニコニコBOX

野村クラブ管理委員



■ 東京北RC 坂下博康様

◆ 日時会員、戸澤会員：

11月6日(木)来週のIMよろしくお
願います。

◆ 竹田会員：ジョン・キョンさん本日卓話よろしく
願います。坂下事務局長さん
ようこそ。

◆ 田中会員：先週の分区親睦ゴルフ大会お世話に
なりました。

◆ 石山会員：高橋応援団長のおかげで分区ゴルフ
優勝できました。ありがとう。

◆ 日時会員：地区大会予選優勝おめでとう。石山
さん個人優勝凄いですね。

◆ 戸澤会員：石山さん初めてのコンペ優勝おめで
とう。青梅ゴルフ場は本当に難しい
と思います。私もやっと100を切り
ました。

◆ 漆原会員、中丸会員：

先日の分区ゴルフ参加の皆様ご苦
労様でした。皆様のご活躍で優勝
できました。どうもありがとうご
ざいました。石山さんが個人優勝
しました。

本日のニコニコ合計： 26,000円
累 計： 657,614円

東京東村山ロータリークラブ

■委員長報告

■目時ガバナー補佐

10月15日で多摩分区の公式訪問を終える事ができました。11月6日のIMよろしくお祈りします。



■野澤 IM 実行委員長

いよいよ来週にせまり、IMに大勢の参加を頂きましてありがとうございました。38名、令夫人11名参加です。プログラムの間違いを修正することと致しました。来週よろしくお祈りします。



■野村青少年奉仕委員長

ロータリー杯争奪野球大会、10月12日に無事終わることができました。優勝：明法学院 準優勝：6中。3位：2中、7中の結果でした。地区の財団11月19日に福生中央に卓話に行っています。



■木下国際奉仕委員

IMの時は今日お配りしましたバーミンガムのネームプレートをつけて参加して下さい。多くの方にアピールしたいと思いますのでよろしくお祈りします。



■漆原社会奉仕委員長

11月8日、9日の産業祭よろしくお祈りします。



■田中ゴルフ部部長

先週の分区の親睦ゴルフ大会選手の皆様、お疲れさまでした。東村山ロータリークラブの皆様のおかげで優勝するこ



とができました。個人においても石山さんが優勝、二ノ宮さんが3位と見事な成績を納めることができました。

一人一人の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。12月は決勝大会が開催されます。今度は、地区の皆様にお力をお借りして東村山の元気をアピールできると思います。選ばれました選手の皆様は死ぬ気で頑張ってください。

ここで東村山ロータリークラブの優勝を祝してバンザイ三唱します。一緒にお祈りします。

東村山ロータリークラブ、バンザイ、バンザイ、バンザイ!!

■臨時総会



■町田会長



■當麻ロータリー情報委員長

「決議23-34」の取り扱いについて 過日の職業奉仕の時の卓話でお話した中での内容を規定審議会に動議として提出し、討議してもらった事としました。

■卓話

■卓話者紹介：
竹田奨学会委員

■卓話者：元米山奨学生
鄭企娟



テーマ：私の抱負
サブタイトル：人のために生きる

私も病気になって、人に助けられて、人の大切さ、生きることの大切さを感じました。今、私の抱負として言えるのは「人のために生きる」ことです。私は日本に留学して本当に良かったと思います。日本という国は、お金、名誉、地位を追っていた私に本当の夢を与えてくれた国。大事なことを判らせてくれた国だったからです。

2001年4月に留学のために日本に来て、今年で7.5年の年月が経ちました。振り返ってみればあっと

言う間のような気がしますが、じっくり考えてみると色々な経験し、色々な人と出会い、色々な人生を味わうことが出来たと思います。

日本が大好き!!日本に来てよかったな!!と思うばかりです。

修士課程の論文が終わりを迎えた夏、米山ロータリーの奨学生だった私は、韓国から日本を訪問していたインターアクトの通訳を担当することになりました。しかし、通訳の途中急に倒れたのです。病院に運ばれ、血液検査から骨髄検査まで色々な検査を受けた結果、前白血病(骨髄異型性症候群)という病名でした。骨髄移植を受けなければ4年しか生きられないという診断結果を宣告されたのです。最初は涙も出ませんでした。信じられなかったのです。人の前では泣きたくない!弱い自分を見せたくない!と固い信念を持っていた私はその時も微笑んだと思います。

「悪いことはしてないのにどうして私にこんなことが…」と神様を恨んだりもしました。家に帰っては夜中まで泣き続けました。4年という時は当時27歳の私にとってはとても短い時間だったからです。しかしこの時期、心の支えになった人々がいます。米山奨学生の時出会ったロータリアンの方々和日本にいる友達です。病院の手当てから始め、私の痛みを分かち合ってくれたり勇気の言葉をかけてくれたりして、落ち込んでいた私を救ってくれたのです。その時考えたのは、交通事故かなんかで今日急に死んだ人、あるいは余命三ヶ月だと宣告された人と比べたら、私の4年という余命は決して短い時間ではない!その人達を思うと落ち込んではいられないと思いました。残りの修士論文を終え、博士課程まで行くことを決めたのです。勿論、病気を治すべきだという周囲の反対もあったのですが、自分自身に負けなくなかったからです。

今すぐ骨髄移植を受けるわけではないので、その日まで何もしないまま病院にいることは考えるだけでも息苦しかったのです。発病から6ヶ月が経ち、韓国の病院でもう一度骨髄検査を受けることになりました。検査の結果、前白血病ではない再生不良性貧血という病名に変わっていたのです。この病気は骨髄が正常な血を作られないので骨髄移植を必要とするが、異変が起きない限りは前よりはもっと生きられるという望みがありました。

薬で治療を受けながら血が足りないときがやってくると輸血を受けたりして勉強を続けました。強い薬のせいか、もっと体が弱まっていく自分を感じました。ひどい頭痛や熱、息切れがますますひどくなったり、血が止まらなくなったりして何回も病院に運ばれる日々を送っていくようになったのです。正直に凄く怖かったのです。そんな体でも博士1年目は頑張っただけで単位を全部取ることが出来ました。

しかし、その時考えたのです。何のために私は生きているのだろう。何のために勉強をしているのだろう。お金のため。地位、名誉のため。こんな人生に意味があるのか。死んだらお金も地位も持っていけないのに…。虚無の風がすうーっと吹いてきました。

死ぬということを常に考えながら生きていく人は少ない。しかし、我々は今日死ぬかもしれないし、明日死ぬかもしれない。私は死んでいく人をたくさん

見てきました。その人達は私が入院しているとき一緒にいた人で、白血病などの血液癌と戦いながら骨髄移植を待っている人でした。抗がん剤で頭は坊主になって顔は白色で、抜け殻みたいで力が無い体。明日は誰が死ぬだろう。切ない毎日でした。そういう中、私は考えたのです。私は必ず健康になって人のためになって行きたいと。健康な内に人のために生きようと。

最初来日したときの抱負は、一生懸命勉強して、仕事をして、お金をもうけて、流行の先端の服を着て、素敵な家に住み、海外旅行をし、おいしいものを食べて人生を思いっきり楽しんで生きていくことでした。しかし、今は違います。自分のためではなく人のために生きることです。私が人のために出来ることは、多分、貧しい国の子供達に教育と夢と希望を与えることではないかと思えます。大きい力にはなれないかもしれませんが、小さいけど温かい気持ちで彼らを支えられることを希望として生きようと努力します。「人というものは一人で生きていけない」「お互いに助け合い、心を分け合うことで人は存在する」と叫びたいのです。

この場で私より人生の経験が多い方にこれを語るのは大変失礼なのですが、人生の1/3を生きてきて、人生というものは長いものでありながら、本当に短いものだなあと思いました。

皆さんもこの世界のために、人のために何か出来るものを求めていくのはいかがでしょうか。

最後に私が大好きな詩を読み上げながらこの発表をまとめたいと思います。この詩は、ローマの休日で一躍スターになったオードリー・ヘップバーンが死ぬ1年前に自分の息子に聞かせた詩です。

魅力的な唇がほしいのなら、
優しい言葉を口にしないさい。
かわいらしい目がほしいのなら、
人々の良いところを見なさい。
美しい体がほしいのなら、
あなたの食べ物を貧しい人々に分け合いなさい。
綺麗な髪がほしいのなら、
一日一回子供の手で触れさせるようにしないさい。
美しい姿勢がほしいのなら、
あなたが決して一人で歩いていないことを覚えなさい。

人々は傷から立ち直らなければならない。
無知から教え導いて善に進ませなければならない。
苦痛から救われまた救わなければならない。
決して誰も捨てることはいけない。

ご清澄ありがとうございました。

■点鐘：町田会長